

私のおすすめ本

孫 徳 峰 専任講師
(経営学)

(1) 戦略的思考とは何か—エール大学式「ゲーム理論」の発想法

A・ディキシット, B・ネイルバフ 著 菅野隆, 嶋津祐一 訳
TBS ブリタニカ 1991年
335.9ⅡD79 B2F

戦略的思考とは、ゲーム理論をベースとし、こちらがこのような言動をとると、相手がこちらの言動をとるのを承知したうえで、さらにその上に行く技である。

この戦略的思考は、我々の現実の社会生活の中で知らず知らずのうちによく活用されています。大学生は3年生の後期から理想な職場に就職するための戦略を練る必要がある。スポーツの場合コーチは試合で勝つための戦略が必要となる。ビジネスマンや企業も競争の中で勝ち抜くための戦略が必要である。このように様々な状況の中で戦略的思考は必要となっているが、常に戦略的思考に基づいて行動するのは実に難しいことである。

戦略的な思考の基礎は、いくつかの法則からなっており、それらの法則を身に着けることで、論理的な思考能力を高められるのではないかと思います。ゲーム理論と聞いた瞬間、難しいイメージを持たれるかもしれないが、この本は難しい言葉は少なく、ビジネス・映画・スポーツ・国際政治などの実例とケースを用い、多くの重要な考え方をわかりやすく解説しています。

(2) 戦略的思考をどう実践するか—エール大学式「ゲーム理論」の活用法

アビナッシュ・ディキシット, バリー・ネイルバフ著
嶋津祐一, 池村千秋訳
阪急コミュニケーションズ 2010年
331.19ⅡD79 5F

この本は、上記の『戦略的思考とは何か』の応用版で、『戦略的思考とは何か』の中で取り上げられている基本的な法則と考え方をどのように実践するのか、その技を活用する手ほどきをすることが目的となります。

戦略的思考の例をいくつか紹介しながら、実社会のさまざまな場面で戦略上の問題点がどのように起こっているのかを示し、有効な戦略とそうでない戦略を紹介しています。

『戦略的思考とは何か』と合わせて読むことで、戦略的思考への理解がさらに深まると思います。